

## H23 年度科学・技術関係予算概算要求 全体ヒアリング（環境省）

- 1 日時：平成 22 年 9 月 2 日 15:55～16:25
- 2 場所：中央合同庁舎 4 号館 12 階 1208 会議室
- 3 聴取者：相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、青木議員、中鉢議員
- 4 説明者：加藤大臣官房審議官
- 5 説明概要

冒頭、相澤議員から、今回の全体ヒアリングの進め方について「個別の施策についての話は行わず、省全体の科学・技術関係施策の概算要求の基本的考え方、最重点化課題の対応、来年度の独法における取組について確認したい」旨の説明あり。

引き続き、環境省から資料について説明（科学・技術関係要求・要望額：446 億円うち要望額 68 億円）があり、質疑応答。

### 6 説明のポイント

- ・「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」を見直し（平成 22 年 6 月）資源配分方針に沿った概算要求を実施し、科学・技術関係予算を拡充（平成 22 年度当初予算額：380 億円 平成 23 年度概算要求・要望額：446 億円）
  - 最重点化課題（グリーン・イノベーション、ライフ・イノベーション）関係施策へ予算を重点化（要求額の 95.5%）
  - 「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」において、5 年後の具体的到達目標を明確にしつつ推進。
  - 競争的資金の統合により政策貢献指向型の競争的研究資金を拡充し、グリーン・イノベーションの推進・分野横断的な研究開発を強化。

### 7 質疑応答模様

#### 【本庶議員】

環境調査研修所の要求額がかなりの減額となっているのは何故か。

#### 【環境省】

環境調査研修所は、国や地方自治体の環境調査に携わる職員等を対象に研修する機関であり、必ずしも科学・技術だけの部分に取り組んでいる訳ではない。厳しい財政状況の中、制約を受けているところ。

#### 【中鉢議員】

府省連携の取組みについておたずねしたい。人工衛星による地球観測の経費を計上しているが、先ほど、文部科学省から同様な気候変動戦略について説明を受けた。文部科学省が行う施策と環境省が行う施策の違いは何か。

### 【環境省】

GOSAT は昨年の 1 月に打ち上げられた。これは環境省の他、文部科学省とも連携して取り組んでいる。文部科学省は JAXA による衛星の打ち上げ、1 次データ（衛星からの生のデータ）を出すところまでの責任を負っている。一方、環境省は、そこから得たデータを、例えば CO<sub>2</sub> やメタンの濃度の分布、すなわち物理量に変換することや、そこから地表面の CO<sub>2</sub> やメタンの収支についてモデルを介して出すということを担当している。簡単に言えば、センサの打ち上げを文部科学省が行い、環境政策等、出口に近い物理量、パラメータの算出を環境省が担当している。

### 【中鉢議員】

文部科学省から提出された資料ではそういうご説明ではなくて、こういうデータを取って気候変動適応施策に利活用するための「プラットフォーム」と説明していた。環境省の要求の数十倍も、シミュレーションするスパコンについて環境省の数十倍に当たる 400 億円弱が計上されている。衛星の打ち上げやシミュレーションを行うことについて日本全体での総合的なプランというのはどういうものになっていて、どういう予算の編成になっているのか。環境省が中心となって進めているのではないかと。

### 【環境省】

環境行政に繋がる場所の担当は環境省になる。その手前の温暖化のメカニズムの解明・対策など、いくつかの段階がある。もちろん、衛星データは一部であり、地上の観測システムや航空機の観測システムが全部組み合わさった上で最後の出口へ繋がっていく。文部科学省は其中でスーパーコンピューターという「プラットフォーム」を担当される。あるいは、衛星を打ち上げるという「プラットフォーム」を担当される。それ以外にもデータを統合するシステムも文部科学省の管轄。環境省は、先ほども申し上げたとおり、環境政策の出口に近いデータを出すことが役割。各機関が、ある意味で入れ子のような形でいろいろなことを担当しているという構造になっている。文部科学省さんはそれに「プラットフォーム」という名前を付けられたのではないかと思う。

### 【奥村議員】

内局分の重点化対象課題対象の割合が 64% から 95% まで増えているというのは大きな変化。95% となった大きな要因は、グリーン・イノベーションが 124 億円増となっていること。この 124 億円の増加は、どのような内容でどの施策について行われているのか。

### 【環境省】

特に大きなものとして、説明資料 P4 に記載された二大イノベーションの推進における、特別枠の部分が新規及び拡充分となっている。

### 【奥村議員】

このグリーン・イノベーションの2施策(地球温暖化対策技術開発等事業、環境研究総合推進費)は継続分ですよね。

【環境省】

継続施策である。拡充部分が大きく効いている。

【奥村議員】

地球温暖化対策事業は22年度も実施している。これについては、いくらが70億円に拡充になっているのか。

【環境省】

地球温暖化対策技術開発等事業は50億円から70億円に拡充している。なお、環境研究総合推進費は70億円から98億円、エコチル調査は30億円から50億円に増額しており、この3つが今回大幅に拡充した予算。

【奥村議員】

それでもまだ、グリーン・イノベーションの増額分の半分の説明にしかになっていない。残りの60億円がどのような事業にあてられるのかが見えない。

【環境省】

他にも低炭素社会実現のための実証事業等を積み上げるとそのような金額になる。

【相澤議員】

2つばかり申し上げたい。説明資料P5に昨年度の指摘を踏まえて対応されたことが記載されているが、この中で最も重要なことは、環境エネルギーの施策作りの段階で、各省を牽引する取組みを期待する。その一つの現れとして、「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ」を策定したということであろう。このロードマップに各省がどのように取り組んで行くかに踏み込んで、施策に結びつくように働きかけて欲しい。そうすれば、位置付けが明確になる。

それから、生物多様性については、環境省が唯一の担当府省となっておりますので、この部分について、どのように展開していくのか、特に来年度の概算要求においてどうなっているのかわかりにくい。今回の施策パッケージの中にグリーン・イノベーション関連として含まれているが、表面立って見えないので、やはり、環境省が生物多様性についてリーダーシップを発揮されているということ、明確に示す必要があるのではないかと。

この2点について、各省を牽引して行って欲しい。

【中鉢議員】

先ほどの奥村議員に対する回答「積み上げるとそのような金額になる」という説明は不完

全ではないか。例えば、科学・技術予算の拡充ということだが、特別枠 68 億円を除いたら、ほとんど何も変わっていないのではないか。たった 2 億円変わるだけである。しかし、一方でグリーン・イノベーション部分を見ると 1 2 4 億円の増である。これは帳尻が合わない。

【環境省】

特別枠も含めて、環境省全体の要求・要望をさせて頂いているところ。特別枠の性質を踏まえ、成長や安全・安心につなげていくことに特別枠を充てている。

【中鉢議員】

それは分かるのだが、お答えになっていない。また、60 億円分の差額についてお答え頂いていない。それほどの金額についての説明が不十分ではないか。

【環境省】

整理して、資料を後ほどお持ちする。

【本席議員】

10%の切り込みはされた訳ですよ。そこは主にどこを切り込んだのか。

【環境省】

環境省は 2,212 億円の予算を要求しており、そのうち、639 億円がごみ処理施設や国立公園等の整備の補助金のような公共事業的性質を持った予算。そのあたりを削りこんで、科学・技術などの予算に充てている。

【青木議員】

説明資料 P6 のところに、世界トップレベルの技術を活かした成長と貢献という記載があるが、その技術的ナリードを活用する方法として、標準化活動に取り組むことが考えられる。経済産業省はかなり強力に取り組んでいるが、環境省はどのようなことに取り組んでいるのか。経済産業省との連携はどうなっているのか。

【環境省】

現在、知的財産戦略本部が取りまとめた「知的財産推進計画 2010」において、国際標準化特定戦略分野が取りまとめられている。そのうち水分野について環境省も参画している。途上国の浄水や汚水処理、産業排水の処理等に取り組む分野であり、環境省は産業排水の処理方法、処理水の測定方法などで参画し、国際標準化作りに携わっていく。

【白石議員】

説明資料 P4 に最重点化課題としてグリーン・イノベーションとライフ・イノベーションに重点化して 95%程度と記載されているが、今年度はどのくらいか。

**【環境省】**

22年度は64.2%である。

**【相澤議員】**

津村政務官から各省に強く要請していることがあるので、私が代わってお伝えする。環境省におかれては、個別施策についての具体的な目標と具体的な期限は、個別施策ヒアリングの際に明らかにされると理解している。全体的に今回は目標設定と期限を明確にすることが基本になっている。それから、各施策についても、PDCA サイクルをきちんと回していくということをご認識頂きたい。そのことも含めて、個別施策の説明に反映して頂きたい。

以上